

プログラム作成団体紹介

*2019年「SDGsの目標達成のためのESD担い手育成事業」に参加いただいた皆さまが所属する団体の活動の概要をご紹介します。なお、団体に関するご質問の場合は、事務局 NPO 環ぱちば（E-mail info@kanpachiba.com TEL 090 8116 4633）までご連絡ください。

浦安三番瀬を大切にする会

1999年に始まった浦安三番瀬クリーンアップ大作戦を継続していくため、実行委員会を支える団体として2003年に立ち上げ、実行委員会事務局の他三番瀬クリーンアップ（プラごみ一掃作戦）の毎月開催や、三番瀬を市民に知ってもらおう活動として体験活動、三番瀬水槽の管理などしています。

HP : <http://ura3banze.ciao.jp/>

温暖化防止うらやす

浦安市地域の地球温暖化防止活動を、千葉県地球温暖化防止活動推進員が中心に、ゆるやかな運営を基本に活動しています。具体的には、浦安市環境フェア・市民活動フェスティバルへの参加での啓発活動、分科会活動として市民の環境意識アンケート調査、環境学習プログラム開発などを行っています。また、市の環境学習アドバイザーとして小学校、公民館等で環境出前講座を実施している会員もいます。 <http://ohnishi.ecnet.jp/dummy/OnBouUrayasu>

柏 段ボールコンポスト研究会

霞ヶ浦田村・沖宿・戸崎自然再生協議会

この地域の特色と変貌を踏まえ、自然の力を借りながら変化に富む水辺空間を再生し、かつての霞ヶ浦に普通に見られた動植物を呼び戻し、憩いの場・環境教育の場として役立つこと、人と自然が共生してゆくことを願って。

「多様な動植物が生育・生息し、里と湖との接点を形成する湖岸帯の保全・再生を図る」

※協議会資料より抜粋

ガールスカウト千葉県第12団

イギリスで始まったガールスカウトは、現在は150の国と地域に広がり、日本では2020年に100周年を迎えます。少女や若い女性だけでなく、様々な世代の女性が一緒に学び活動しています。

千葉県第12団は、柏市で活動しており、キャンプなどの野外活動の他、コミュニティガーデンのお手入れ、特別養護老人ホームの清掃など地域での奉仕活動を行っています。一方で暴力に対するキャンペーンなど、人権教育にも取り組んでいます。

<https://www.facebook.com/girlscouttroop12chibajapan/>

ガールスカウト千葉県第 63 団

イギリスで始まったガールスカウトは、現在は 150 の国と地域に広がり、日本では 2020 年に 100 周年を迎えます。少女や若い女性だけでなく、様々な世代の女性が一緒に学び活動しています。千葉県第 63 団は、千葉ニュータウン地域（白井市・印西市）で活動しており、キャンプなどの野外活動や地域でのボランティア活動の他、福島ひまわり里親プロジェクトで 3.11 の被災地福島の支援活動を 8 年間続けています。近年は、自分ごとで考えるジェンダー教育プログラム、防災減災プロジェクトや SDGs などにも取り組んでいます。 <https://www.facebook.com/gschiba63/>

こどもエコクラブ しろくまキッズ

私たちは、「こどもエコクラブ」に登録している環境活動クラブです。千葉県主催の「こども環境会議 ちば 2016」に参加したことがきっかけで始まり、自分たちのできる身近な環境活動に自由に取り組んでいます。「ソーラークッキング」や「紙すき」などの活動をまとめた壁新聞は令和元年度、千葉県代表に選ばれました。（公財）日本環境協会がこどもエコクラブ全国事務局として、活動のサポートをしてくれています。「こどもエコクラブ しろくまキッズ」で検索ください！

酒々井里山フォーラム

2001 年に発足した里山整備の団体です。活動の内容は、酒々井町の谷津田に隣接した自然の整備再生、及びその周りの杉林等の管理がメインですが、耕作放棄になりそうな畑地を利用した農園芸体験、小学校の校庭のビオトープの整備等が主な活動になっています。自然の中の作業を媒体として、会員同士あるいは他団体との協働イベント等を通して、和気あいあいと作業を楽しむのをモットーとしています。是非一度見に来て頂ければ幸いです。HP は「酒々井里山フォーラム」で検索して下さい。

成田おむすびプレーパーク

団体のブログです。活動の様子をご覧ください。

<https://ameblo.jp/naritaomusubipure-pa-ku/>

一般社団法人 ふろしき研究会

日本の暮らしの文化の象徴でもある、ふろしきの再使用性、多用途性に着目し、時代にあった新しいふろしきの包み方や使い方を提案し、使い捨てのない暮らしや文化を次世代につないでいこう、という目標を掲げ、1992年に発足。マイバックとしてのふろしき活用とレジ袋削減を呼びかけています。環境学習のツールとして活用し、全国各地でふろしき包み方出前講座を行い、自治体や地域主催の催しに出展するなど幅広く活動しています。

八千代市ほたるの里づくり実行委員会

生きものを通して、自然の仕組みを理解し共生するため、ホタルをはじめ、多様な生物の生息環境づくりを、市民・企業・八千代市とのグラウンドワーク方式で進めています。1998年に設立後20年過ぎ、植物や水辺の生き物が住める環境づくりが評価され、生物多様性保全上重要な里地里山に環境省より選定されました。おや子生き物探検隊、生き物観察会、里の整備活動、里山保全協議会との連携など活動しています。 <http://www.city.yachiyo.chiba.jp/123508/page000009.html>

WAcKA

環境汚染に影響のある第二の産業と言われる繊維産業。中でも大量廃棄される新品衣料に着目し、アップサイクルと言う手法で課題解決を目指しています。その工程では障害や外国にルーツを持つなどの理由で社会に生き辛さを抱える方の就労支援を行っています。また3世代が集う場、楽しく環境貢献を合言葉に参加型の場づくりを行っています。

環境省主催 グッドライフアワード 環境と福祉賞 受賞 <https://wacka.jp>

特定非営利活動法人 環境パートナーシップちば(NPO 環パちば)

前身の環境パートナーシップちばが20年経ち、平成30年1月に法人格を取得しました。会の目的は、環境活動の推進と充実を図るため、市民・団体・企業・行政・学校とのパートナーシップのもと、「持続可能な開発に向けた目標(SDGs)」や「持続可能な開発のための教育(ESD)」の視点を意識して、さらなる持続可能な社会の実現をめざすことです。具体的には、環境講座、エコメッセちば事務局機能、多様な主体との協働へ取り組んでいます。 <http://kanpachiba.com>